地域保健学域 教育福祉学類

1 FD活動の実施体制、取り組みの概要

以下の3項目について重点的に取り組んだ。①ハラスメント問題への意識を高める取り組み。②教育と福祉の融合の観点から学生がどのような融合的論文を書いているか等について、学生の関心事項を収集。③新学域への参加のために、新しく創設される予定の「現代システム科学域」での学類のあり方や科目数削減などについて、学類独自のオープン会議を開催して課題と発展について共有を行った。

2 FDに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容(タイトル)	種別	参加者数		
2018年9月27日	ハラスメント防止セミナー「教員-学生間	講演会	15名		
	のコミュニケーションについて考える」				
2018年10月16日	教育福祉学類 4 回生卒論中間発表への参加	約60名(3年 生・教員含む			
2019年2月5日	教育福祉学類4回生卒論発表会への参加		のべ人数)		
2018年10月25日	学類教員 新大学オープン会議	ワークショ ップ	同のべ約 48 名		
2019年3月11日	学類教員 新大学に向けての課題について	話し合い	20名		

3 FDに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
FD 関連会議	学類長・主任・教務 FD 委員による計画	4	4
学類会議での事前連絡	FD の事前案内および周知	3	21
新大学 WG	カリキュラム削減・改善のための検討	5	5

4 FD活動への各教員の参加状況

※ 前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数 (実数) 20 人 / 20 人中

5 ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期			
後期			
年度合計			

6 その他取り組みの具体的実施状況

知的障害を有する方からの科目等履修生希望について、これまで明確な基準がなく担当教員の裁量で受け入れを決めていた。これに対して教育福祉学類の教務上の整合性、成績等の基準などを整理し、教務委員会での検討を踏まえて教育推進課および学類全体での共有などを行った。また、資格関連カリキュラムに関するアンケート(1回生対象、前期)、1回生への後期授業の履修に関する説明会(1回生対象、9月末の後期開始頃)、2回生への実習オリエンテーション(3年次での社会福祉実習、保育実習)、3回生および4回生に対する教育福祉ゼミナールおよび教育福祉学演習の(いわゆる「ゼミ」)の概要と配属説明(配属希望などに関するアンケート等実施した。